

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立貫江田幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

- ・幼児教育は教師が子どもたちの可能性を探り伸ばしていく魅力的なものである。子どもの小さな思い、心をよく見ていくことが大切である。本園は子どもをしっかりと見ている。
- ・本園は教師同士がコミュニケーションをよくとっており、良い雰囲気である。
- ・保育修了式では子どもも保護者も満足感が高かった。これまでの日々の積み重ねが表れている。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- 保護者アンケート「幼稚園は、安全教育や防災教育の推進に努めている」の項目について、肯定的回答の割合を年度当初より向上させる。
- 保護者アンケート「友達のことを気にかけて、大切にできるようになってきた」の肯定的回答の割合を年度当初より向上させる。

- ・食物アレルギーは怖いので、今後もアレルギー対応を丁寧に行うことが大切である。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 保護者アンケート「子どもは遊びの中において自分で考え行動するようになった」の項目について、肯定的回答の割合を年度当初より向上させる。
- 保護者アンケート「子どもは友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しむようになった」の項目について、肯定的回答の割合を年度当初より向上させる。
- 保護者アンケート「子どもは手洗いやうがいを丁寧にするようになった」の項目について、肯定的回答の割合を年度当初より向上させる。

- ・小学校も「いいとこみつけ」を活用している。複数の目で見ることが大切である。
- ・プライベートパーツについての取り組みは大切である。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- 保護者アンケート「幼稚園は、地域の方々との関わりや幼小交流など、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」と回答する割合を年度当初より向上させる。

- ・小学校、中学校、近隣認定こども園との交流が充実してきている。
- ・小学校との交流も増えた。日常的に小学校訪問してもらえると、小学生も温かい気持ちになりよいと思われる。
- ・小学校と地域との交流が幼小交流に活かされている。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・幼小交流後はお互いの教師同士で振り返りをし、次に生かすことが大切である。